

【残酷な勝ち筋】

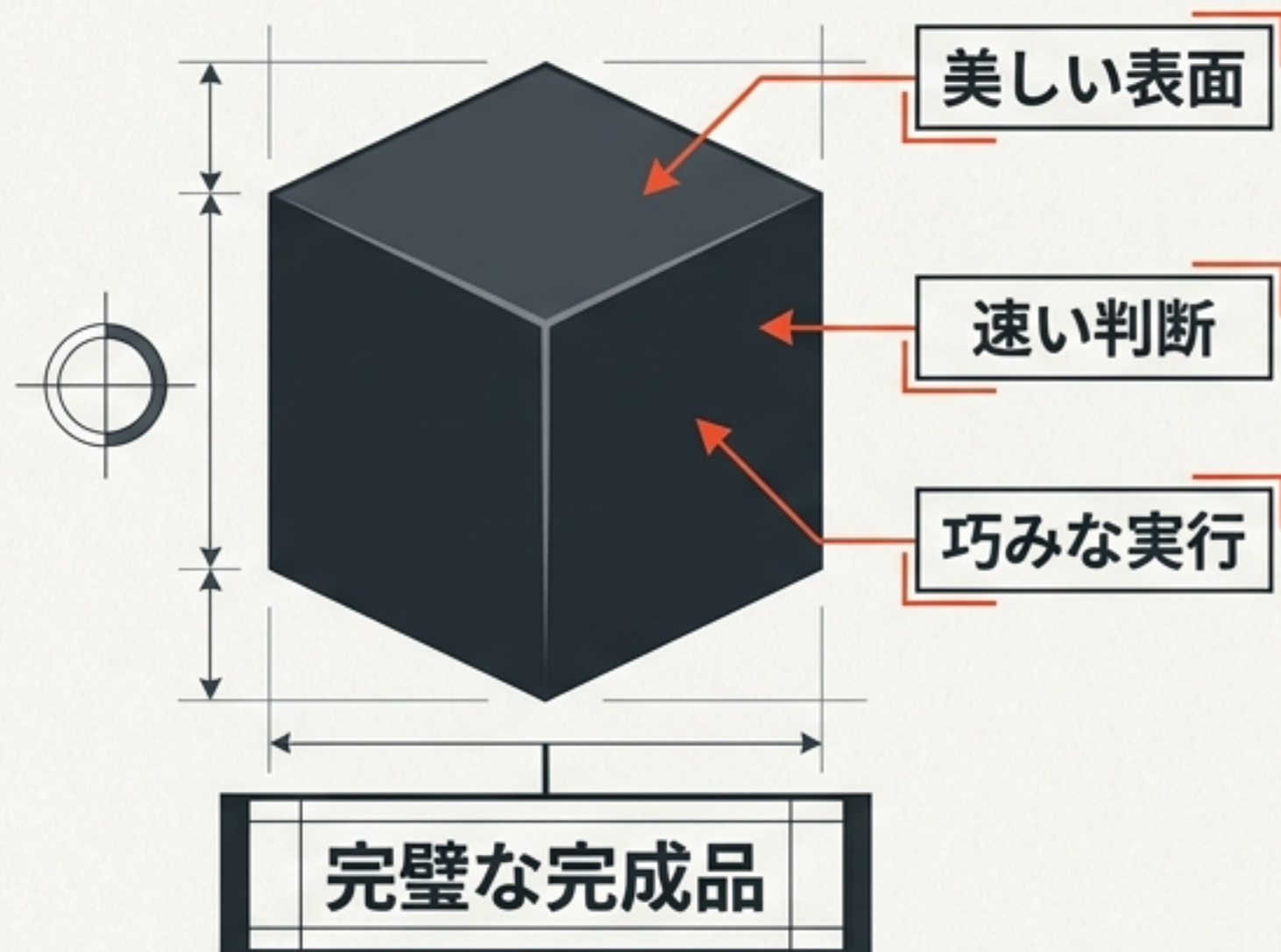
完成形に憧れるな、
更新構造を盗め。



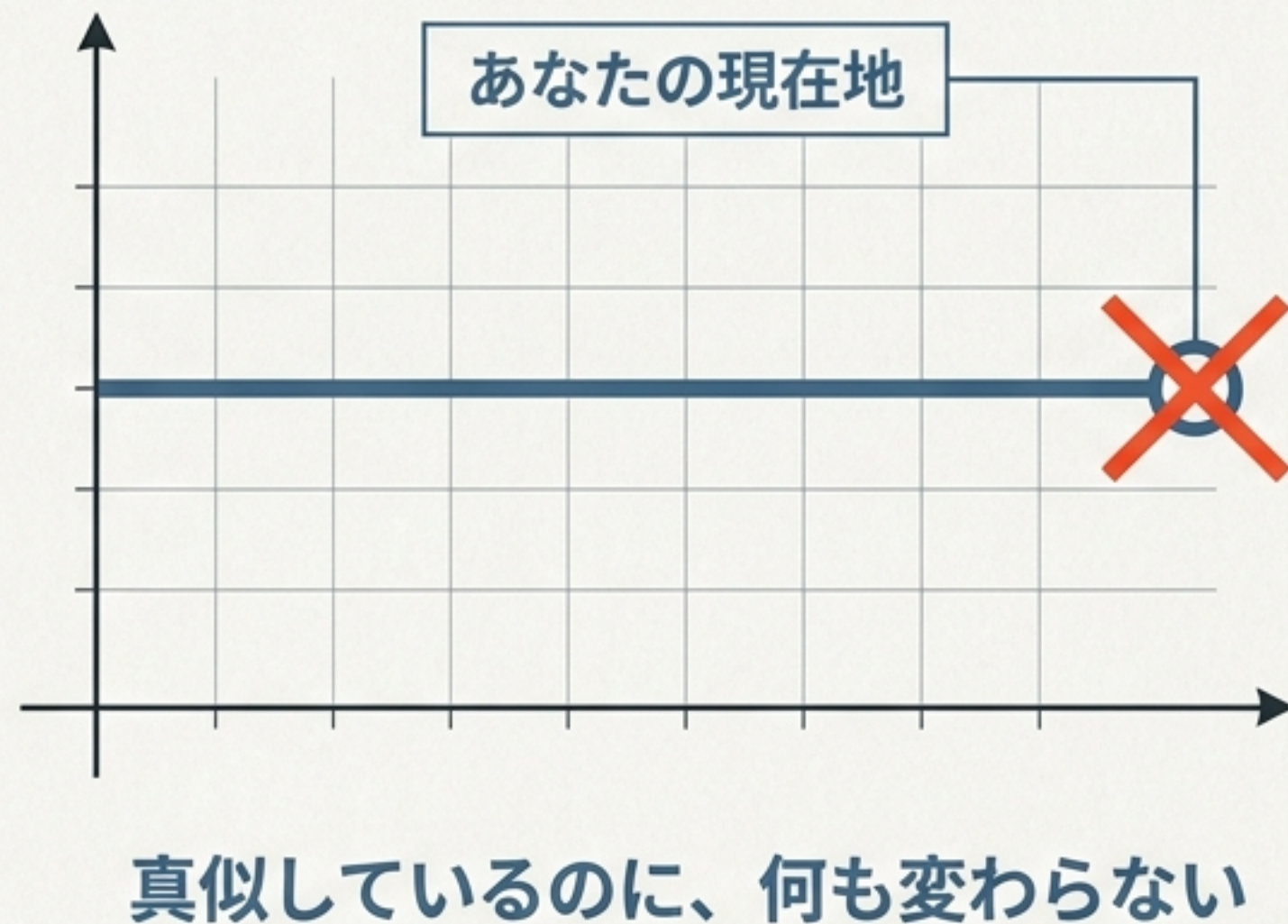
なぜあなたは「最強」を真似ても成長しないのか？
社会人のための超実践・自己変革アルゴリズム

「強い人」を真似るといふ罠

The Illusion

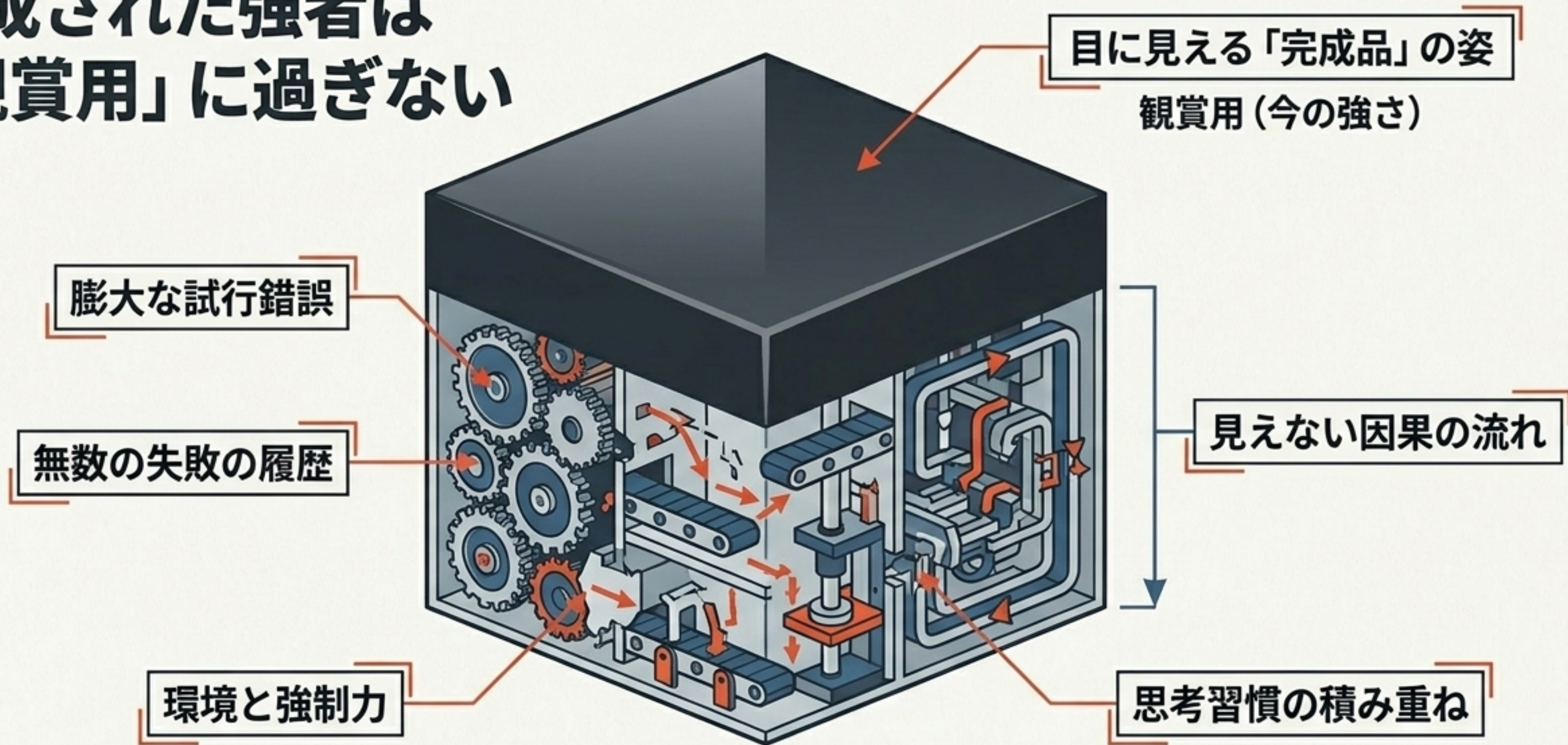


The Reality



トップ層の表面をなぞっても、あなたの現実は1ミリも動かない。なぜか？

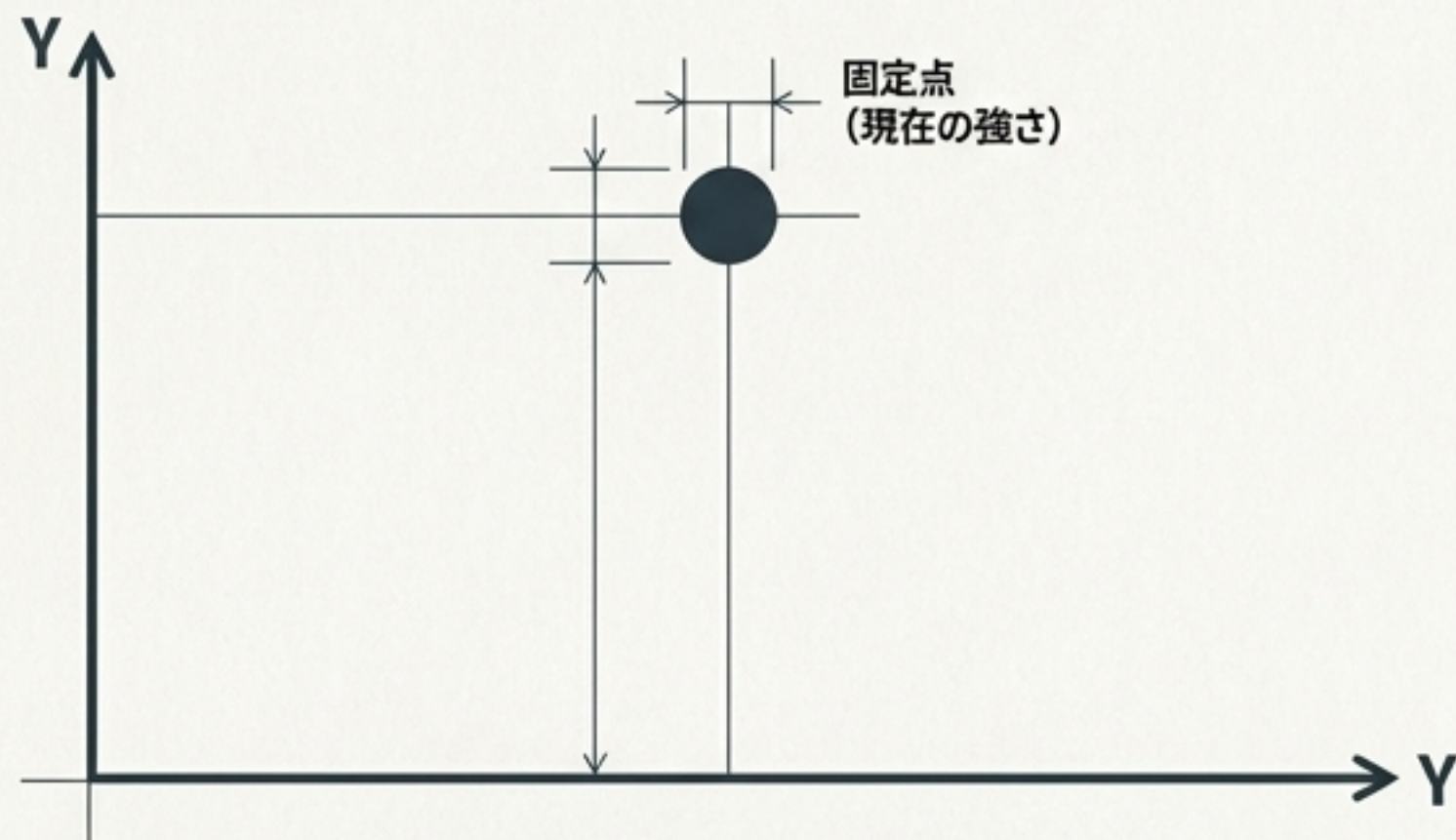
完成された強者は 「観賞用」に過ぎない



強い人は、この「因果の流れ」の終着点にいる。
プロセスを無視して表面だけを似せようとしても、中身は決して再現できない。

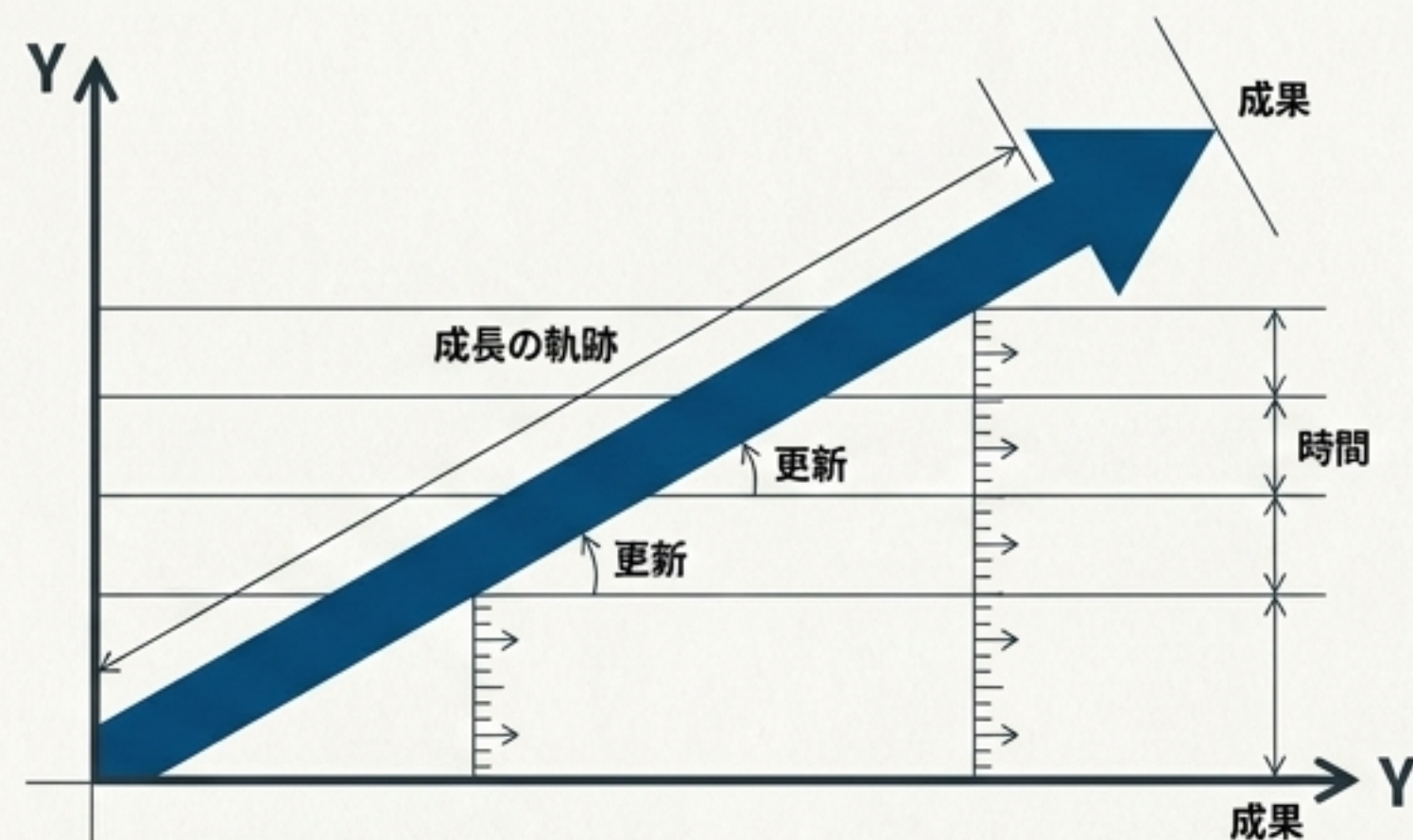
「ステータス(現在地)」ではなく「ベクトル(変化の角度)」を見よ

× 強い人の完成形



すでに到達した「点」を見るな。
それはただ気分を上げるだけの特效薬のない夢だ。

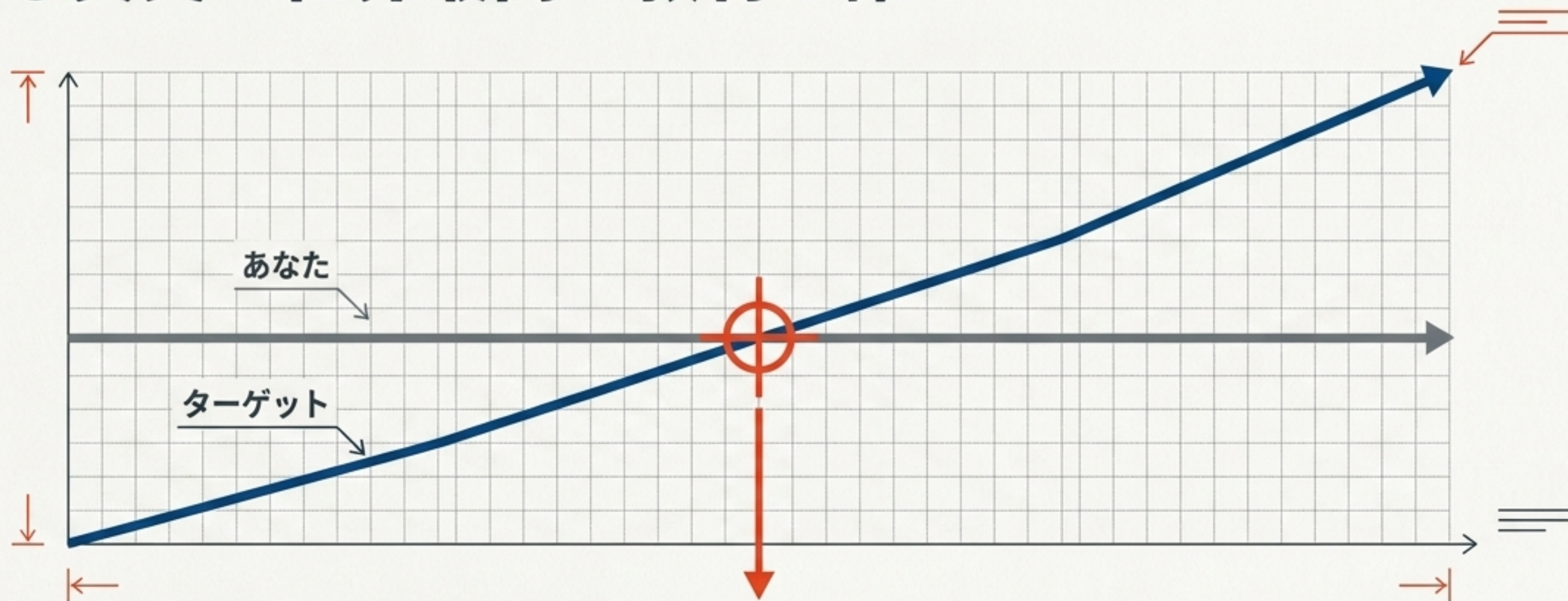
○ 日に日に強くなる人



現在進行形で伸びている「線」を見よ。
彼らの中にこそ「変化を生む構造」が露出している。

真似とは、ポーズをなぞることではない。【更新の仕方】を盗むことだ。

残酷な真実：世界最高の教材は誰か？



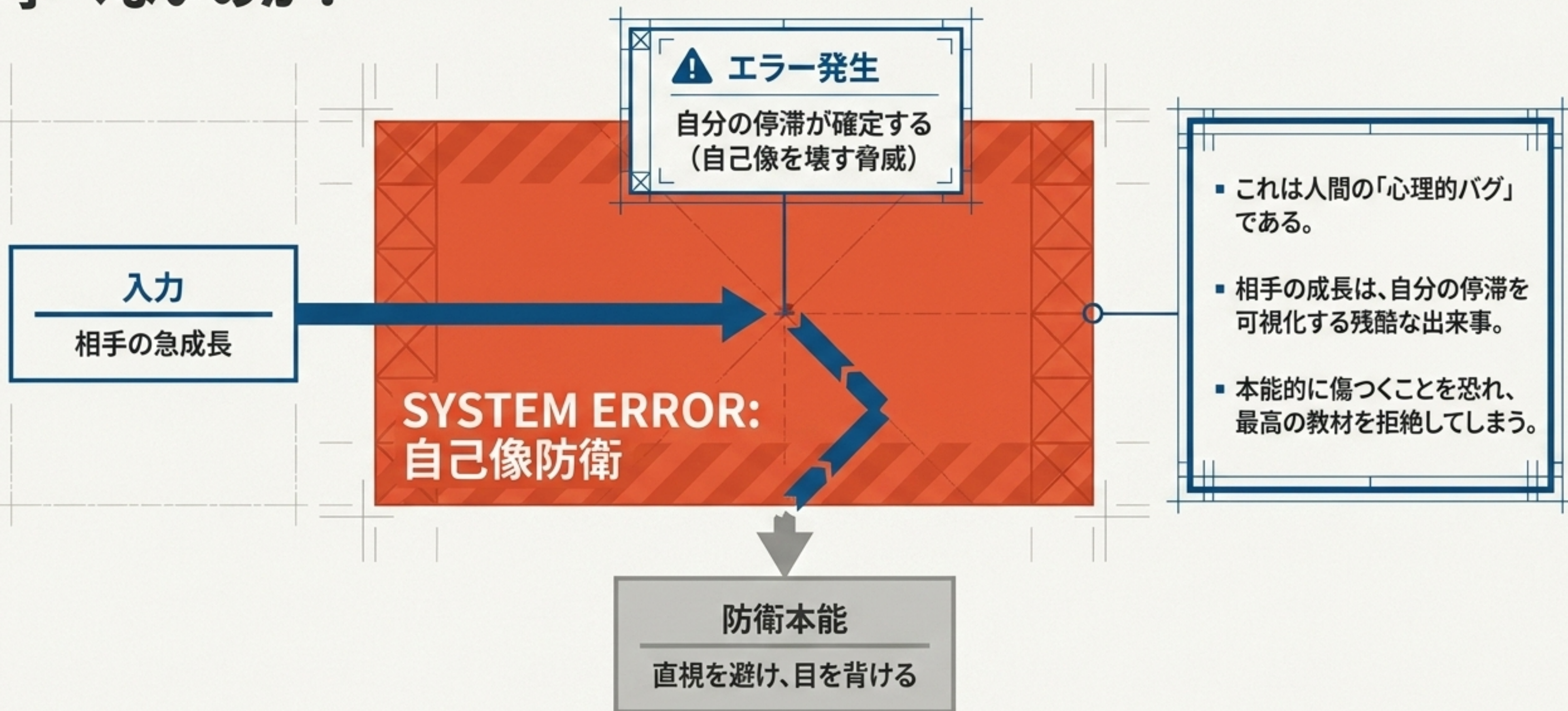
自分より弱かったのに、自分を抜いて強くなった人

スティーブ・ジョブズでも、
業界のトップでもない。

あなたと最も近い条件から、
停滞を打破した人物。

遠い天才よりも、遥かに再現性の
高い「成長の因果」がここにある。

なぜ私たちは「自分を抜いた相手」から 学べないのか？



分岐点：悔しさを「呪い」にするか、「分析」にするか

事象：自分より下だった相手に追い抜かれた

伸びない人（呪い）



解釈：相手の「まぐれ」だと思い込む

行動：相手の敗北や失敗を願う

結果：自分の停滞から目を背け、成長はゼロのまま

伸びる人（分析）



解釈：相手の「更新構造」が優れていたと認める

行動：相手が何を捨て、何を続けたか観察し、自分に移植する

結果：相手を「教材」にした瞬間、自身の成長が始まる

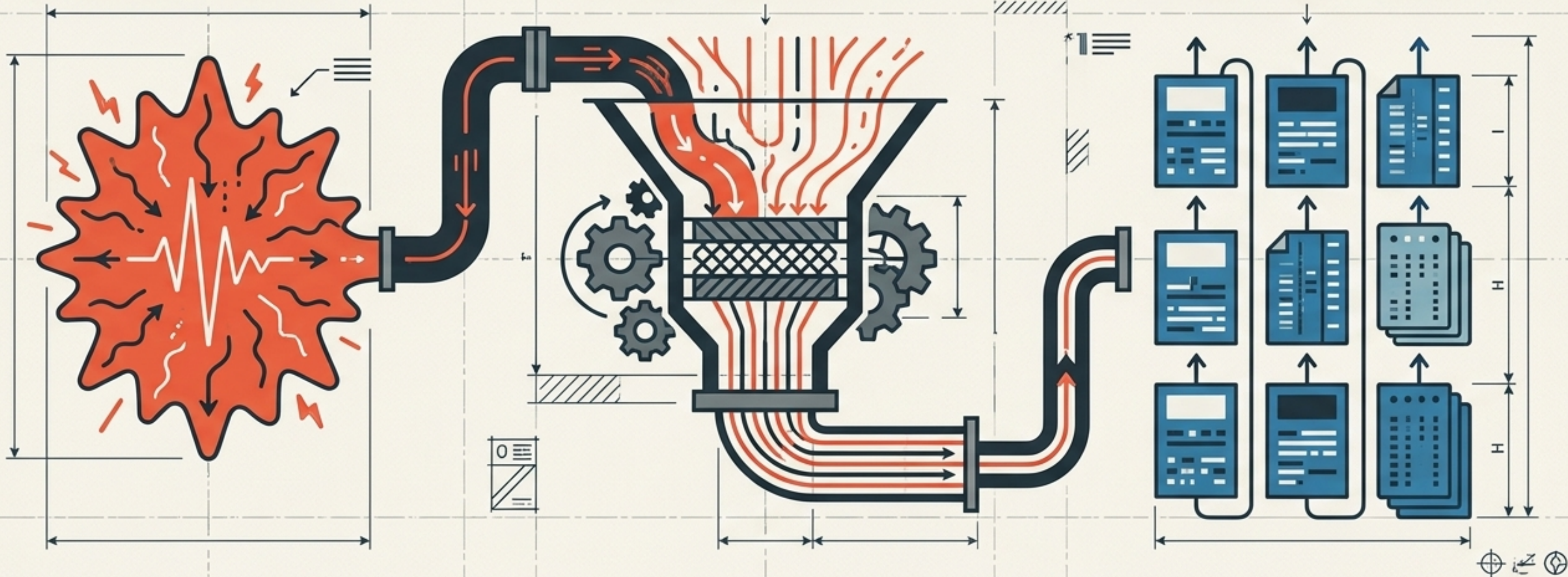
痛みを伴う現実を、因果として回収するコード



1. RAW DATA: 嫉妬と悔しさ
(AIにはない人間の特権)

2. FILTER: 感情を抑え込まず、
相手を「教科書」として開く

3. OUTPUT: 次のステージへ進む
ための具体的な「変革データ」



言い訳を捨てよ。相手の敗北を願っている間は、あなたの時間は止まったままだ。
感情をデータに変換した者だけが、次の扉を開く。

【更新構造を盗む】3つの自問自答リスト



相手の「結果」ばかりを見て、「過程」の変化を無視していないか？

(何を変え、何を捨て、どんな失敗を減らしたかを見極める)



自分を追い抜いていったあの人は、最近どんな「小さな習慣」を変えていたか？

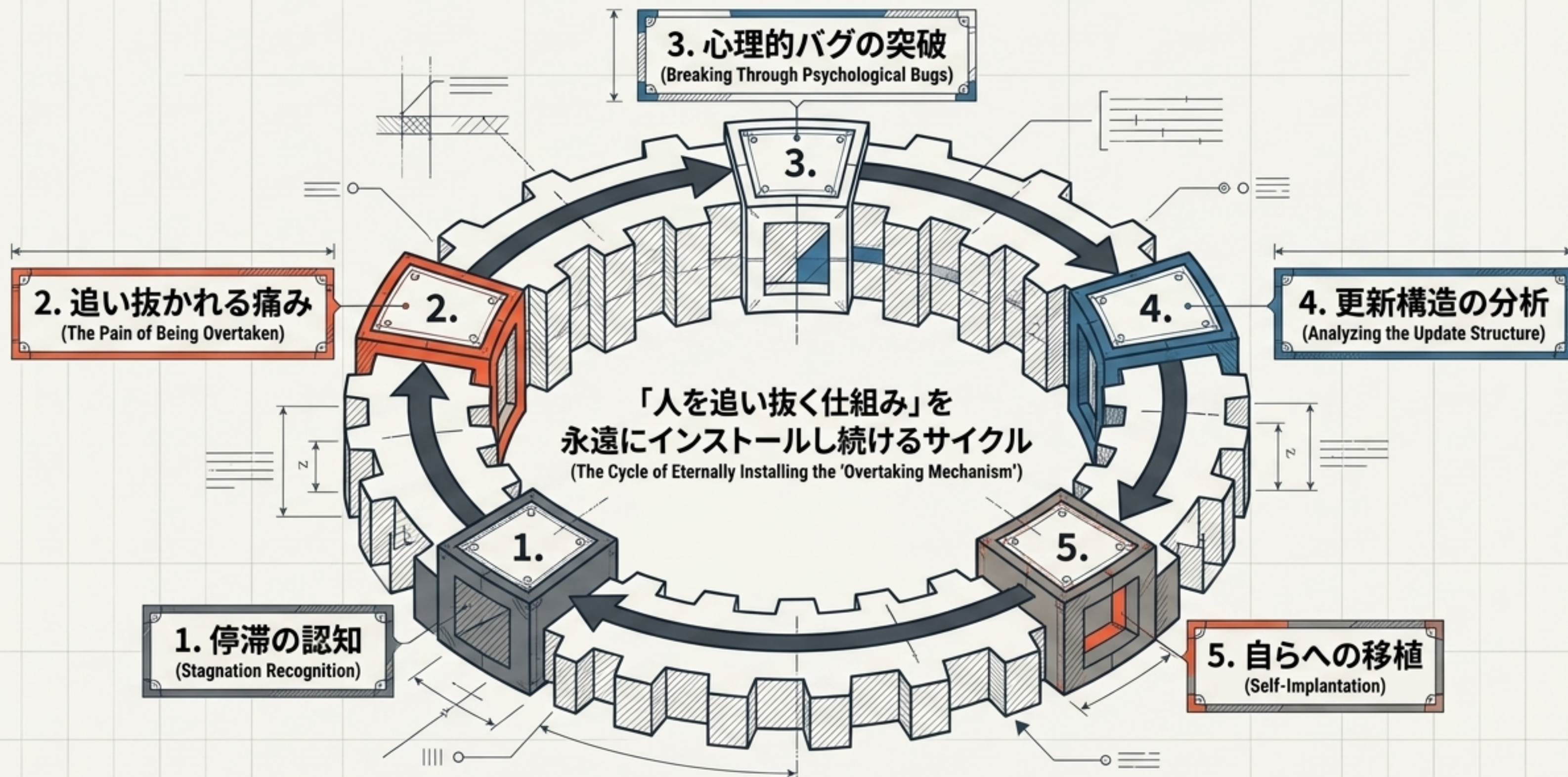
(練習・業務への向き合い方の変化を現在進行形で観測せよ)



今感じている悔しさは「相手への怒り」か、それとも「未更新の自分への焦り」か？

(焦りであるなら、それは成長のトリガーだ)

自己変革アルゴリズム (The Kinetic Blueprint)



1600

100

660

150

100

800

完成形への憧れは、
気分を満たす。
更新構造の模倣は、
現実を変える。

